

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		白石町立白石小学校				C：やや不十分である D：不十分である			
1 前年度 評価結果の概要	・児童が自ら考え、交流を通じて課題を解決する実践を重ねてきた。その成果は意識調査やCRTの結果にも表れている。次年度は、「教える」から「引き出す」指導に転換し、すべての児童が「わかる」「できる」授業を目指す。そのためにも、教師自身が単元構成の重要性を問い続け、一人ひとりの理解を深め、学びやすい環境を整える。 ・多様なニーズに対応した個別支援の充実や共に学び合える環境づくりに取り組んできたが、さらなる改善が求められる。次年度は、児童が安心して学べるよう、適切な手立てを講じるとともに、周囲の理解を深める取り組みを進める。また、教職員の専門性向上を図り、支援の質を高めることで、より充実した教育環境を整えていく。 ・年3回の避難訓練を意図的・計画的に実施し、職員・児童の危機対応力を高めることができた。しかし、有事の際、保護者・地域とともに組織的な対応ができているとは言えない。次年度は、中学校と連携を図り、危機管理の徹底を図っていく。								
2 学校教育目標	心豊かに創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成 ～「子どもを真ん中」にした学校づくりで 幸せいっぱいにな～								
3 本年度の重点目標	・進んで人と関わる子どもの育成 ・助け合い・協力できる子どもの育成 ・立ち直る逞しさをもつ子どもの育成								
4 重点取組内容・成果指標		中間評価			5 最終評価		主な担当者		
(1)共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)			実施結果
●学力の向上	○校内研究の充実	○「友達や先生と話し合いながら課題解決ができている」と回答した児童90%以上。 ○「解く問題や解く方法を自分で決めるなど、主体的に課題解決できている」と回答した児童80%以上。	・児童が解く方法や解く問題を選択しながら学ぶことができるような手立てをとって授業を行う。 ・「教える授業」ではなく、「引き出す授業」を意識して教材研究を行う。	・		・		・	鶴田
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校アンケートにて、道徳の授業で自分の考えをもったり、友達の交流の中で考えを深めたりすることができた児童が80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全学級で授業を公開する。 ・授業後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学級通信等で保護者に知らせる。	・		・		・	田代
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のフォーム」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策を協議する。	・		・		・	田代
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・各種体験活動では、活動の見通しをもたせ、一人一人が主体的に活動できるようにする。学びの振り返りを行い、児童の頑張りを称賛する。 ・自分の目標や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。	・		・		・	5.6年担任
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○各学年の目標就寝時間までに寝る児童70%以上 ○朝食をとる児童90%以上 ○1日3回歯磨きをする児童80%以上	・9月と1月に「はなまるすこやかチェック」を実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・自分の生活を見直したうえで自分なりの目標を立てさせる。 ・歯科衛生士と協力してブラッシング指導を行う。 ・便り等で保護者に知らせ、協力をお願いする。	・		・		・	山口
	○児童の体調管理の習慣化	○外遊びの際に帽子をかぶる児童が90%以上 ○適切な水分補給ができる児童が90%以上	・天気状況に応じて外遊びもしくは室内遊びをすすめて、熱中症対策を徹底する。 ・自分の体調管理を意識するような学級指導を行い、帽子着用や水分補給の習慣をつける。	・		・		・	田久保
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・職員の時間外自発勤務の時間の平均が月45時間以内になるように勤務管理システムを活用したタイムマネジメントを随時、奨励する。 ・配布物・調査物等デジタル化したり、会議を精選しゴール(めあて・終了時刻)を明示したりして、業務削減を目指す。 ・毎週金曜日を定時退勤推進日とし、掲示板に掲げたり、個別に声掛けをしたりする。	・		・		・	教頭
	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○管理職への「報告・連絡・相談」を通して、未然防止と初期対応ができおり、働きやすいと答える職員が80%以上	・職員が、様々な問題を一人で抱えこまないように些細なことも随時紙媒体(メモ)で管理職に報告する。管理職は状況に応じたチームを作り対応をする。	・		・		・	教頭
●特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の推進	○インクルーシブ教育についての知見を深め、個に応じた指導を意識して授業を実践できる職員を80%以上	・授業の工夫、個別支援等の具体的な支援方法について連絡会等で紹介したり、外部講師を招聘したりして啓発を図る。	・		・		・	丸尾
	○ユニバーサルデザインの推進	○ユニバーサルデザインについて知り、学校共通の取り組みを行う職員が100%	・環境面の配慮や授業内容の改善等について共通実践事項を決め、職員会議等において定期的に確認する。	・		・		・	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							主な担当者		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)			実施結果
○危機管理・安全教育	○職員・児童の危機対応力の育成 ○防災教育の推進	○「学校は防災や不審者侵入などの対策ができている。」と答えた保護者が80%以上	・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行し、問題点は必ず対応する。	・		・			・
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育									
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・								